

No. **43**号
2025年3月号
(令和7年)

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人々を応援します。

CONTENTS

- P.1平塚市情報 第6回平塚市みんなのまちづくり事例年間大賞の表彰
- P.2団体レポート 『NPO法人 pena』
- P.3お役立ち情報
- P.4センター情報・平塚市情報

団体
レポート

～リトルベビーやその家族を支援する会～ 『NPO法人 pena』



平塚市情報

第6回

平塚市みんなのまちづくり事例年間大賞を受賞した団体を表彰しました!

令和7年2月4日(火)の表彰式にて、年間大賞を受賞した団体を表彰いたしました。応募に御協力いただき誠にありがとうございました。

なお、令和6年8月16日～10月11日に応募いただいた事例をまとめた「事例集」を発行しましたので、是非、御覧ください。

(カラー版をホームページに掲載しています。)

平塚市協働推進課 ● 電話21-9618

https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00022.html



▲受賞された方々と市長

団体
レポート

『NPO法人 pena』



▶NPO法人 pena
理事長の
坂上さん

～リトルベビーやその家族を支援する会～

現在、日本ではおよそ10人に1人が2500g未満の「リトルベビー(低出生体重児)」として生まれています。背景には妊娠高血圧症候群などの合併症や医療技術の発達など様々な原因があり、今後も増加傾向が予測されますが、リトルベビーに対する社会的理解はまだ十分ではないのが現状です。

今回はリトルベビーやその家族を支援する会「NPO法人 pena」の理事長・坂上さんにお話を伺いました。

■神奈川県版リトルベビーハンドブックを作りたい!

2018年に第1子を370gで出産した坂上さん。周りに同じ境遇の人や相談できる相手もおらず、不安と孤独の中での子育てスタートでした。SNSを通じて全国のリトルベビーママと交流を深めていく中で、母子手帳サブブック「リトルベビーハンドブック」の存在を知りました。

母子手帳は体重1000gから、発達は月齢に合わせて記入する仕様になっていますが、リトルベビーハンドブックは体重の記録は0gから、発達は“はじめて〇〇が出来た日を記録でき、体重が1000gに満たない子や、発達がゆっくりでも子どもの成長を書き込めます。

そこで、神奈川県版のハンドブック発行を目標に、また「当事者の声を届けたい」「未来のリトルベビーママたちに自分たちと同じ涙を流してほしくない」「社会を変えたい」との強い想いを持って、2021年7月「かながわりトルベビーサークル pena」を立ち上げました。

ハンドブックの作成にあたり、まずは神奈川県に要望を送りました。しかしながら当時はコロナ禍ということもあり、なかなか取り上げてもらえませんでした。その後ご縁があった神奈川県議がハンドブックについて理解を示し、議会で取り上げてくれたとのこと。

2022年から作成検討会を重ね、2023年8月ついに「かながわりトルベビーハンドブック」が完成しました。出来上がった時、坂上さんは「声は届くんだ。社会は変えられるんだ。」と感じたそうです。また、ハンドブックの存在について「これまで、母子手帳に子どもの成長を書けないのが当たり前だと思っているママも多かった。でもハンドブックは特別なものじゃない。今リトルベビーを産んでいるママは当たり前手にしている。それが嬉しい。」と話していました。

▼ららぽーと湘南平塚での写真展



▶2023年に配布が開始された「かながわりトルベビーハンドブック」



▲リトルベビーの成長の過程や家族からのメッセージが展示されます



▲11月17日の「世界早産児デー」に合わせて横浜で開催された写真展

■誰でも子育てしやすい社会を目指して

リトルベビーハンドブックの配布が始まり、それを機に pena の活動に参加する人も徐々に増えていきました。より多くの当事者の声を社会に届けるためには行政や自治体・関連団体との連携や協力が必要不可欠となります。そこで2024年4月に「NPO法人 pena」として法人登記しました。また同年10月には神奈川県と連携協定を締結。1つ目の取り組みとして「誰もが安心して搾乳ができる環境づくり」が推進されることになりました。赤ちゃんが入院しているリトルベビーママが一人で授乳室に入ると「子どもがないのに何をしに来たの?」という目を向けられることも多く、トイレで搾乳をする方もいるそうです。また、搾乳はリトルベビーママだけでなく、授乳期間中に早期復職された方にも必要になります。しかし、「搾乳」という言葉や必要性など、認知度が低いとのこと。そこで pena は当事者の声を県に届け、授乳室で搾乳ができることを示すシンボルマークを作成しました。横浜市の商業施設でシンボルマークの掲示が始まったのをきっかけに多くのメディアに取り上げられ、全国に広まりつつあります。



■おわりに

取材の最後に、お子さんが産まれた時と同じ大きさ・重さのぬいぐるみを見せていただきました。両手におさまるほどの大きさながら、ズシリといのちの重さを感じました。

現在に至るまで、グループLINEによる交流会や、写真展などの啓蒙活動を続けてきましたが、今後は当事者支援にも力を入れていきたいとのこと。

リトルベビーやその家族への理解や制度がまだまだ十分ではありません。penaの皆さんはそんな社会を変えるため、県域で活動しています。「どこでどんな風に産まれても一緒に笑って過ごせるようにしたい」と話す坂上さん。penaの活動はHPやSNSで発信されています。

こちらをご覧ください

■神奈川県HP
「かながわりトルベビーハンドブック」



■NPO法人 pena Instagram



■NPO法人 pena HP



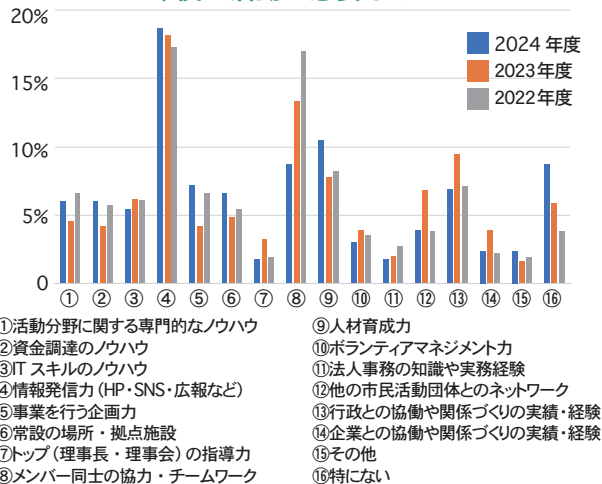
お役立ち
情報

市民活動の現状に関するアンケート調査結果

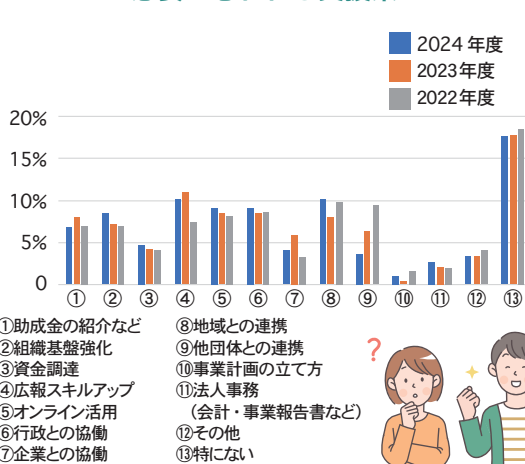
ご協力ありがとうございました!

去る令和6年(2024)年12月、センターに登録されている市民活動団体及び市内NPO法人の皆様を対象に、活動の現状や課題及び災害時の連携・協力について質問させていただきました(20項目)。その結果、164団体の皆様から回答をいただきました(昨年度:132団体)。今号ではアンケート結果を過去3年間を振り返り、その傾向を見てみました。尚、アンケート全体の詳細については、ひらつかの風43号に同封するとともに、当センターのホームページ上に公開させていただきますので、そちらも併せて是非ご覧ください。

今後の活動に必要なもの



必要と思われる支援策



新規登録団体のご紹介

2024年2月～2025年2月にかけてセンターに登録された市民活動団体をご紹介します。

- 1 俳人協会神奈川支部
神奈川の俳句を活性化する団体です。俳句大会、吟行会などは会員でない方も参加できます。
- 2 傾聴・平塚のつどい
傾聴活動を通じて様々な苦しみの中にある方々を支える事を目的とし、会員相互の親睦と交流を図り地域の福祉活動に貢献します。
- 3 うみがめの会
「人権・平和・環境」を守る活動を通じて、安全・安心・人らしく生きられる豊かな社会づくりを目的とします。
- 4 特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット平塚支部
シニアの持つ知識・技術・経験を活かし、スキルアップしながら自らの手で自分たちの住む地域社会を良くしていこうとする市民の集まりです。
- 5 神奈川県警親会 平塚支部
一般社団法人神奈川県警親会が計画実施する事業に協力するとともに会員相互の連携と親睦を図ることを目的としています。
- 6 チーム湘南
学びの場、語り場を提供することで、「より良い未来を作りたい」という仲間との繋がりを生み出し、共に考え、行動することでみんなが生きやすい社会を作ります。
- 7 NPO法人 pena
2500g未満で生まれたリトルベビー。当事者に「一人じゃないよ」と伝えたい。地域の方にも知ってほしい。そんな想いを込めて活動をしています。
- 8 一般社団法人 平塚倫理法人会
心の経営をめざす人々のネットワークを拡げ、共存共生の精神に則った健全な繁栄を実現し、地域社会の発展と美しい世界づくりを目的として活動しています！
- 9 市民活動団体 Never Not Alone
昨今の少子高齢化に伴う社会情勢を鑑み、一人一人に寄り添う思いやりのある社会を作りたいと思いました。
- 10 マスターズ平塚
野球というスポーツ活動の場を設けることで、多様な平塚市民のコミュニティ醸成に貢献します。
- 11 ひらつかウエルネスクラブ
心身および経済面も含めたトータルの健康のため、健康増進活動を通じて、健康で豊かな生活をおくることを目的とします。
- 12 授業づくり実践研究会
小学生の子ども達の学びと育ちを研究し、子ども達を育て、将来の市民としての成長を図る。
- 13 かわせみ食堂
「人としての豊かさ」を提供し、地域とのつながりを深めると共に、子どもの健全育成・子育て中の家庭の孤立を防ぐことを目的とします。
- 14 フリースペースいるえんぴつ
学校以外の多様な学びや育ち、生き方を支援し、人間関係をはぐくむ環境を創造します。
- 15 あそびのスタジオ pepika
子どもと保護者に向けた食の提供とあそびのある居場所づくり。地域の多世代が集い子どもをまんやかに、みんなでみんなを育て合う環境づくりをしています。

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

協働事業に関する相談会

令和8年度の市民提案型協働事業へ応募を考えている団体さんに向けて相談会を実施します。平塚市との協働を検討している団体さんはこの機会をご利用ください。

- 日時 ● 4月10日(木) ①10:00～10:55
 ②11:00～11:55
 4月19日(土) ①10:00～10:55
 ②11:00～11:55
 5月8日(木) ①14:00～14:55
 ②15:00～15:55

※上記日程以外にも、随時相談は受け付けています。

場所 ● ひらつか市民活動センター

相談対応 ● 平塚市協働推進課職員、ひらつか市民活動センター長

申込 ● 所定の用紙にご記入の上、平塚市協働推進課又はひらつか市民活動センターまでお申込みください。



平塚市情報

● 市民提案型協働事業の募集開始

令和8年度に実施する市民提案型協働事業の提案の募集を開始します。行政と協力・連携して実施したい事業がございましたら、検討段階で構いませんので、お問い合わせください。



アクセス!



募集期間 ● 令和7年4月4日(金)～5月16日(金)

お問い合わせ先 ● 平塚市協働推進課 電話 21-9618

詳細はこちら ● http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00040.html

● ひらつか市民活動センターのホームページをご活用ください!!



センターから発信する様々な報告・情報を右記の二次元コードから見られます。



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



センター開催報告

編集後記

今回ご紹介した「NPO法人 pena」の活動は、自分たちの声を“届ける”ことで、少しずつ周囲の理解が進み社会が変わっていくことを示してくれています。当事者の存在を知ること・その声を聞くことの大切さを改めて教えられました。

センターでは今後も様々な団体の想いや活動を発信していきます。(に・よ)

編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町 1-8

TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数 (2025年2月15日現在)

登録団体数 ● 443 団体

(内訳 市民活動団体…324 団体、一般団体…119 団体)



センターのマスコット たすけくとあいちちゃん

